

事業所名

わくわくハウス 桶川西校(児童発達支援)

支援プログラム

作成日 2025 年 3 月 15 日

法人(事業所)理念		「心とからだを動かして、“できた”を育てる」 わくわくハウス桶川西校は、運動を通じた成功体験を重ねながら、子どもたちの自己肯定感と可能性を育む支援を大切にしています。私たちは子ども一人ひとりのペースを尊重し、「安心・自信・挑戦」が育つ環境を整えます。		
支援方針		運動療育を基軸とし、身体機能の向上と心の安定を図ります。 発達に合わせた個別支援計画を立て、柔軟かつ丁寧な支援を提供します。 日々の活動を「できた！」に変える支援を目指します。		
営業時間		9 時 00 分から 19 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	朝の会や日課の流れを活用し、生活リズムや基本的な生活習慣を身につけます。 健康的な体づくりの基礎となる「食事・睡眠・排泄」への関心を育てます。 衛生・身だしなみ(手洗い・うがい・マスク着用など)を遊びや視覚教材で支援します。		
	運動・感覚	多様な運動遊び(ジャンプ、くぐる、登る、転がる等)を通じて、基礎的な身体機能を育みます。 運動療育プログラムは、感覚統合の視点を取り入れ、自己調整力や集中力の向上を目指します。 活動後のクールダウンやリラクゼーションタイムを設け、心身の安定を図ります。		
	認知・行動	スモールステップによる課題提供で、達成感と「やってみよう」という気持ちを育てます。 視覚支援(カード、タイマー、構造化環境)を活用し、理解と行動の見通しを支援します。 行動の自己管理(がまん、待つ、切り替えなど)を学ぶ機会を日々の場面で設けます。		
	言語・コミュニケーション	「ことば」だけでなく、身振り・表情・視線などの非言語的手段を活かしたコミュニケーション支援を行います。 小グループ活動や対話的な遊びを通じて、「伝える・受け取る」力を育てます。 個別課題や読み聞かせを通じて、語彙力・理解力を段階的に伸ばします。		
	人間関係・社会性	ごっこ遊びや協力ゲームを通して、他児との関わり方や社会的ルールを体験します。 「ありがとう」「どうぞ」「いいよ」など、肯定的な言動を促す支援を行います。 職員との信頼関係を基盤に、対人関係の安心感を育てていきます。		
家族支援		ご家庭での子どもの様子を共有し、共に成長を見守る関係を築きます。 定期的な面談や連絡帳を通じて、保護者の思いや悩みに寄り添います。	移行支援	小学校入学に向けて、集団活動・机上課題・指示理解などに段階的に取り組みます。 日常の活動に「学びの要素(聞く・考える・伝える)」を組み込み、就学に備えます。
地域支援・地域連携		園・学校・医療機関との情報共有や連携支援を積極的に行います。 地域イベントへの参加や施設開放を通じて、地域に開かれた施設を目指します。	職員の質の向上	運動療育に関する知識・技能の習得を重視し、実技研修や勉強会を定期的実施します。 チーム内での振り返りや情報共有により、支援の統一と専門性の向上を図ります。
主な行事等		感覚遊びを取り入れた「わくわく運動チャレンジ週間」 季節ごとの自然体験(散歩、落ち葉拾い、水遊びなど) 節句や行事(ひな祭り、こどもの日、夏祭り、クリスマスなど)		